

bluememe
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

2025年3月期 第2四半期 決算説明資料

2024年11月14日

01	2025年3月期 第2四半期業績と業績予想	>	03
02	当事業年度の状況と施策	>	10
03	Appendix	>	15

1

2025年3月期 第2四半期業績と業績予想

bluememe

2025年3月期 第2四半期連結 決算ハイライト

- ローコード市場の急速な拡大に対応するためにデジタルレイバーを含めたマルチローコード対応を強化
- OutSystemsの大幅な価格改定により対象顧客の見直しを行い、今後の販売戦略を変更
- それに伴う組織体制の変更と過年度決算修正に伴う影響で売上高が減少するため業績見通しを修正

	2025/3期 2Q	2025/3期 計画	対前年同期比	進捗率
期末受注残	5.5億円	9.0億円	104.6%	-
売上高	10.8億円	31.0億円	90.1%	35.1%
プロフォーマ EBITDA	0.1億円	4.2億円	8.7%	4.3%
営業利益	-0.5億円	2.5億円	-	-

当四半期の状況

- 売上高については、第1四半期と比較して改善
- 過年度決算修正による売上減少
- 新たな販売戦略の実施により受注状況は四半期ベースで回復
- ライセンスの価格改定によって値引きが増加し減益要因に
- 訂正監査による監査報酬の追加の影響で減益

第2四半期連結 営業利益の増減分析

- マルチローコード戦略を見据えた事業投資のために販管費を期初の予定通り消化
- 過年度決算修正のための訂正監査費用などが営業利益に大きく影響
- 過年度決算修正による当期の売上減少分と訂正監査費用を合わせた営業利益の減益インパクトは約150百万円

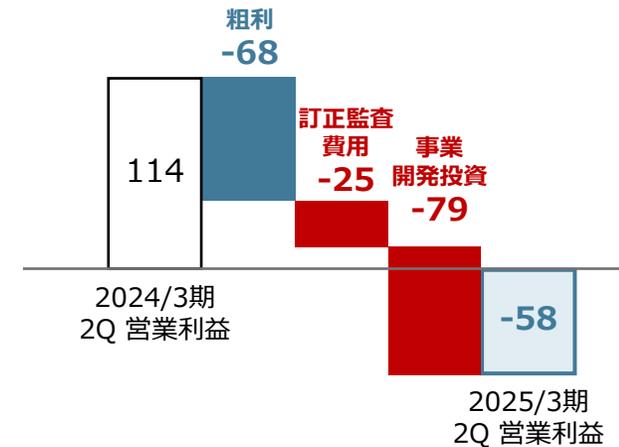
営業利益の前年比較

単位：百万円

	2024/3期 2Q	2025/3期 2Q	増減額	前年同期比 増減率
売上高	1,208	1,088	-120	-9.9%
営業利益	114	-58	-172	-
経常利益	116	-70	-187	-
当期純利益	58	-67	-125	-

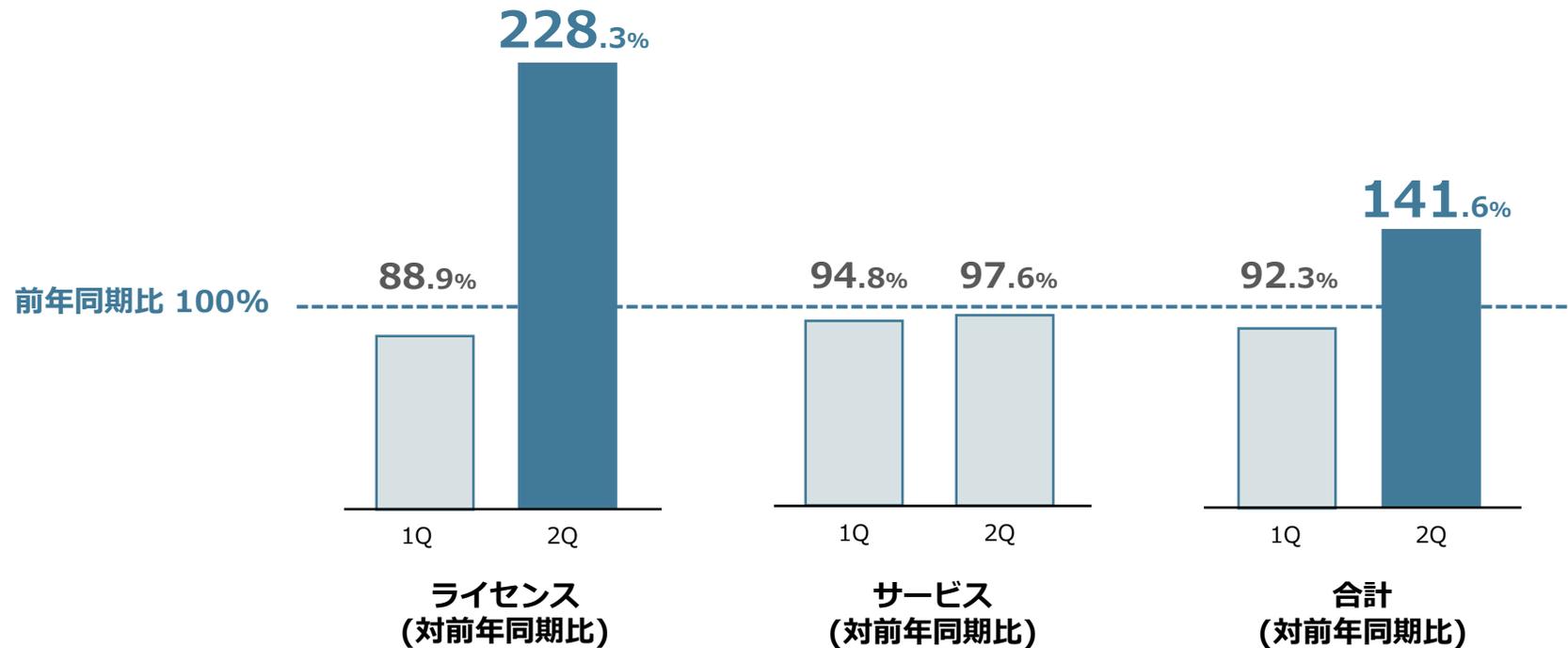
(注) 金額は百万円未満切捨

2Q営業利益の増減分析



当事業年度の受注高は第2四半期以降改善

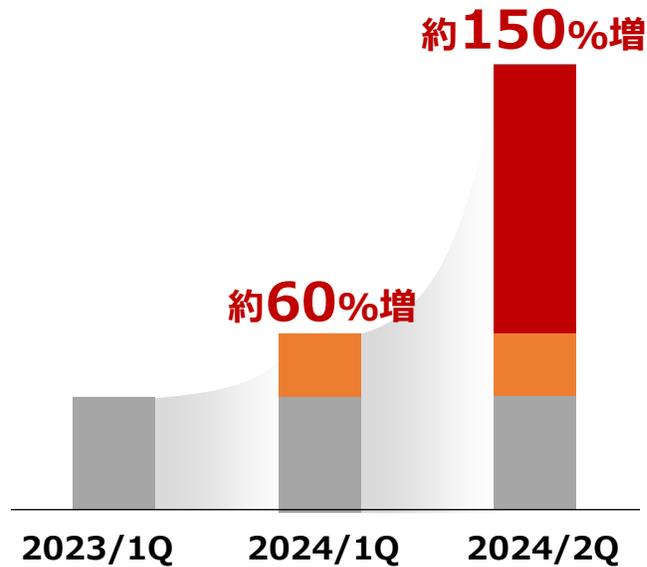
- OutSystemsの価格改定の影響を受け販売戦略を見直し、第2四半期の受注が改善
- ライセンスの新たな予算獲得と継続契約の交渉に営業活動をフォーカスしたため、サービス受注が昨年と同水準となった
- 第3四半期以降はサービスの受注を増加し、来期も見据えた受注強化を図っていく



OutSystemsライセンスの価格改定

- OutSystemsのエントリーレベルのライセンス価格を24/1Qには約60%増、24/2Qには約150%増の価格改定を実施
- ライセンス価格の変更により、顧客の開発予算の確保のための交渉が長期化したため、サービス受注が下期にずれ込む予定

OutSystemsライセンス価格改定推移

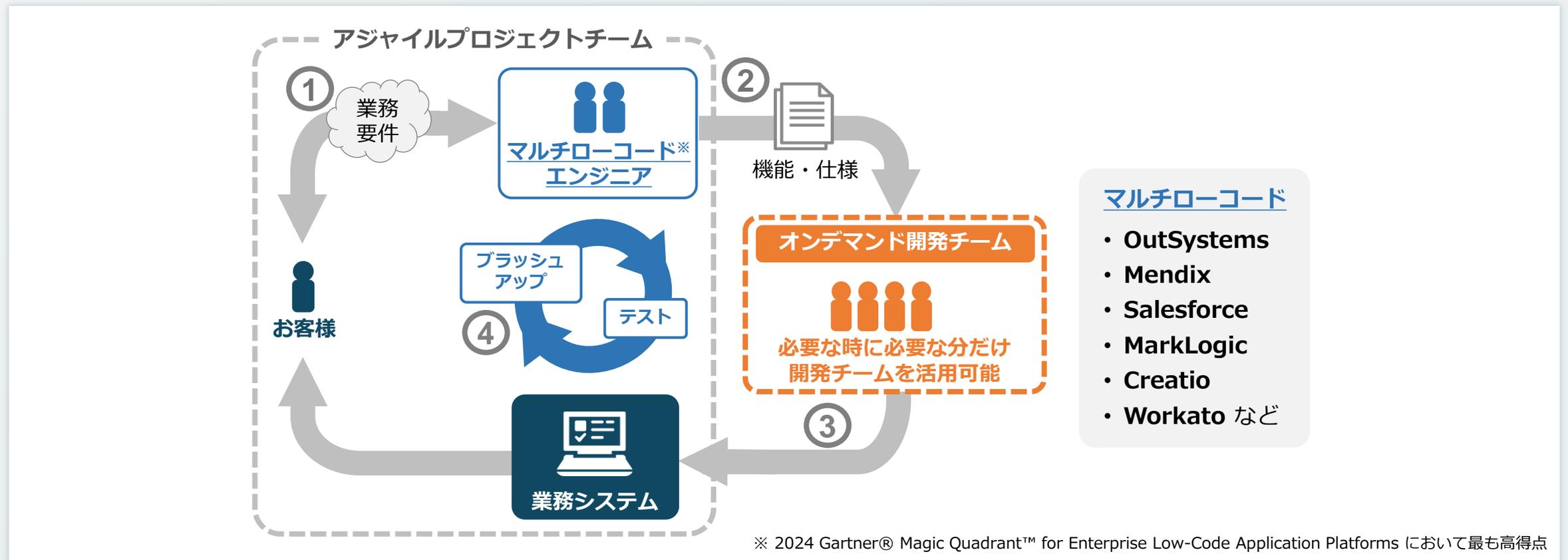


お客様の予算獲得時のインパクト
※ライセンス費用が年間200万の場合の5カ年予算



マルチローコード基盤に対応し、開発サービスの提供範囲を拡大

- 顧客評価の高いMendix※の採用など、急成長するローコード市場に対応するためマルチローコード戦略を前倒しで強化。顧客の予算と規模に合わせた提案を可能にし、顧客層の拡大を図る
- マルチローコードに対応する組織体制等構築のため、戦略的な事業投資を継続



通期業績予想

- OutSystemsの価格改定の影響と、過年度決算修正により2025年3月期に売上計上を予定していたライセンス売上が過年度の売上として計上された影響が大きく、2025年3月期の通期業績予想を修正
- 中期経営計画の達成に向けて戦略的な投資を継続することから、利益についても同様に修正

単位：百万円

	2025/3期 当初通期予想	2025/3期 修正通期予想	*ご参考 2024/3期(実績)	*ご参考 対前期増減率
売上高	3,100	2,510	2,506	0.1%
営業利益	250	0	253	—
経常利益	250	0	254	—
当期純利益	200	-50	174	—

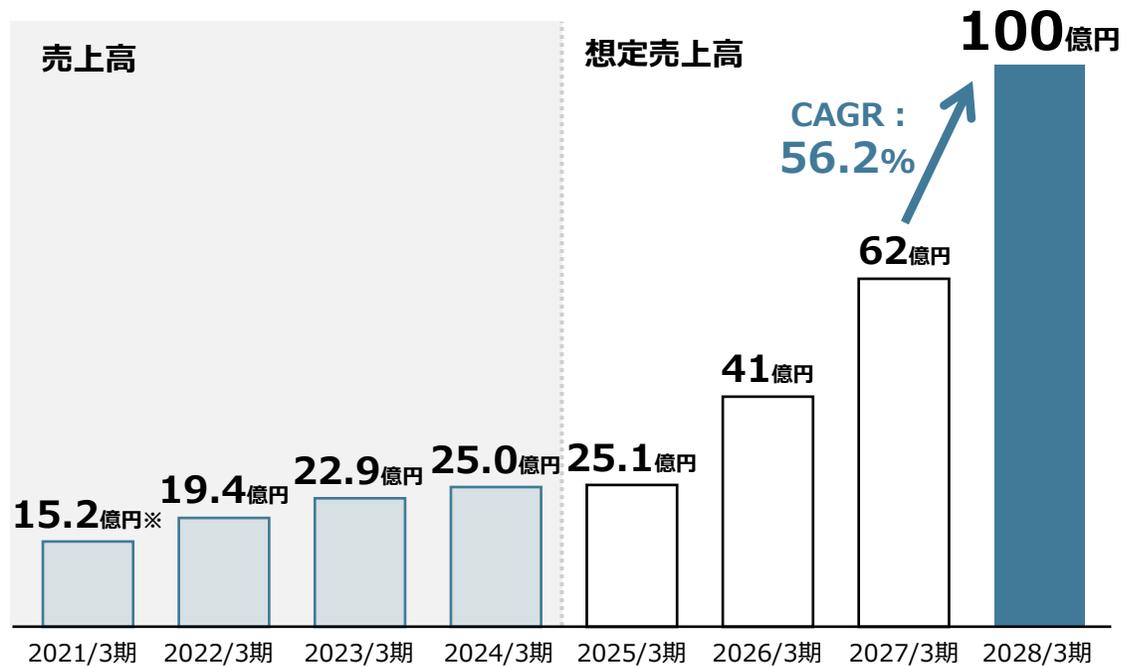
(注) 金額は百万円未満切捨

2

当事業年度の状況と施策

bluememe

当事業年度の状況と今後の見通し



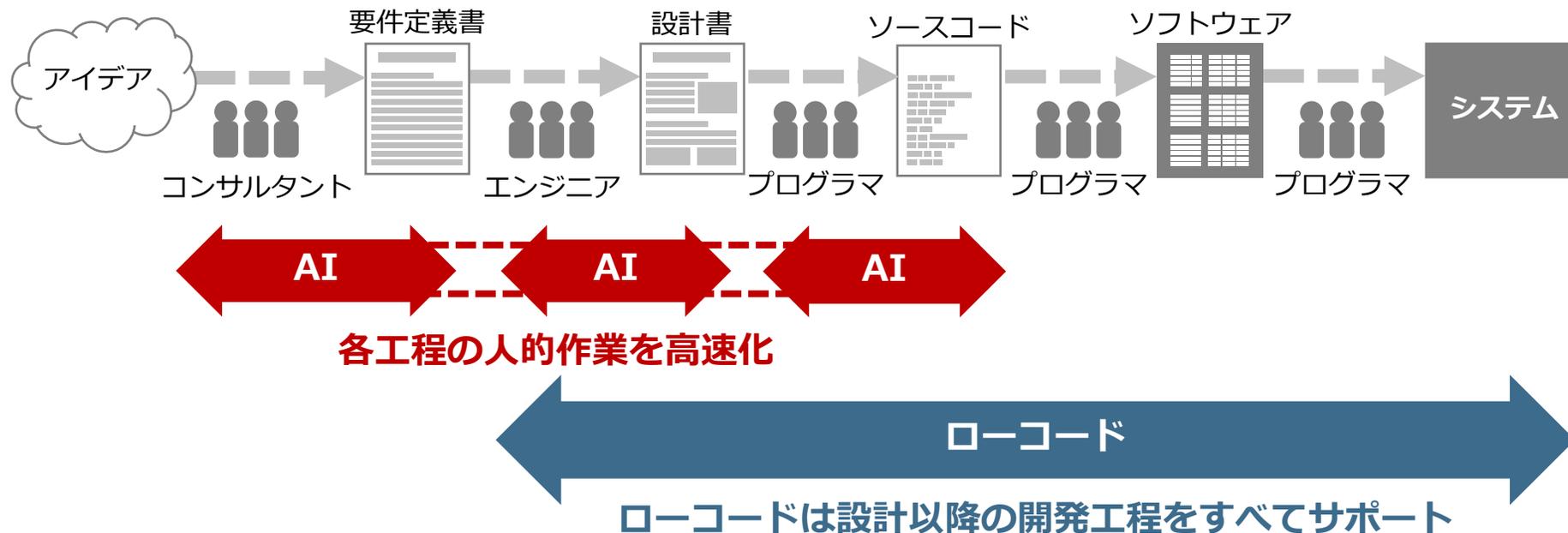
※2021年3月期の収益認識基準（新基準）適用の売上高は監査法人のレビューを受けていないため参考値

当事業年度の状況と今後の見通し

- ・ 過年度決算修正によって売上減少や訂正監査費用があったが一過性の要因
- ・ ライセンス価格改定に対応するための新たな販売戦略の実施により第2四半期以降は受注が回復
- ・ マルチローコード戦略を前倒しで進め、OutSystemsに次ぐ収益の基盤を構築する

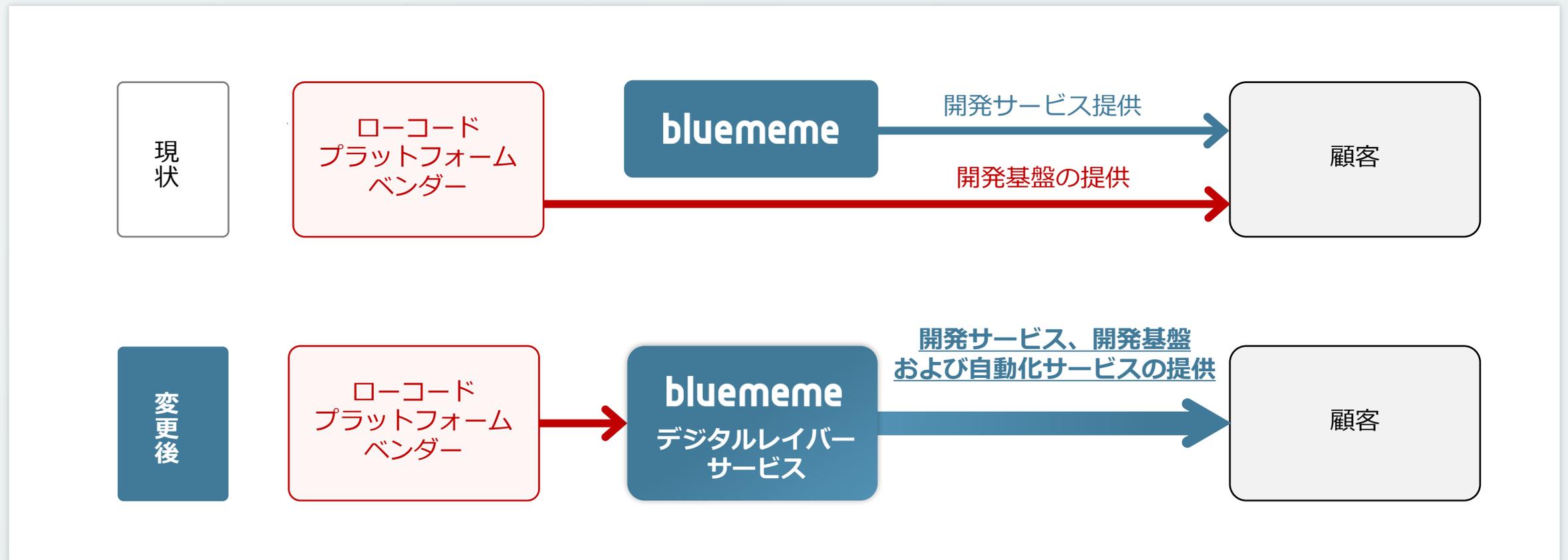
その他の活動状況等

- 中期経営計画に沿って、金融・小売等の市場をターゲットとしたパートナーの獲得も進めており、数社と交渉中
- デジタルレイバーを適用するパイロットプロジェクトの拡大を推進
 - 開発計画は順調に進展、開発自動化による工数削減効果を確認
- 上流工程中心の開発の競争力を高めるため、業務分析及び設計フェーズにてAI活用の検証を実施



デジタルレイバー活用による収益構造の変化

- 現状、当社ではローコード+アジャイル開発のサービスとライセンスを並行して提供
- デジタルレイバーの実用化に当たって、デジタルレイバーによる開発自動化サービスも加えた一体サービスとする。事業収益構造も含めて、大きく変革することを想定



自己株式の取得枠拡大

- 2024年8月20日開催の取締役会において経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式取得を決議
- 現在の自己株式の取得状況と株式市場の動向を踏まえ、株主の皆様への更なる利益還元と資本効率の向上により、適切な株主価値の実現の遂行を目的として、取得し得る株式総数および株式の取得価格の総額を以下の通り拡大

	変更前	変更後
取得対象株式の種類	普通株式	普通株式
取得し得る株式の総数	100,000株 (上限) 発行済株式総数 (自己株式除く) に対する割合 ➡ 約2.8%	150,000株 (上限) 発行済株式総数 (自己株式除く) に対する割合 ➡ 約4.2%
株式の取得価格の総額	100,000,000円	150,000,000円
取得期間	2024年8月21日～2025年8月20日	2024年8月21日～2025年8月20日

- 2024年8月20日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計は以下の通り (2024年10月31日現在)

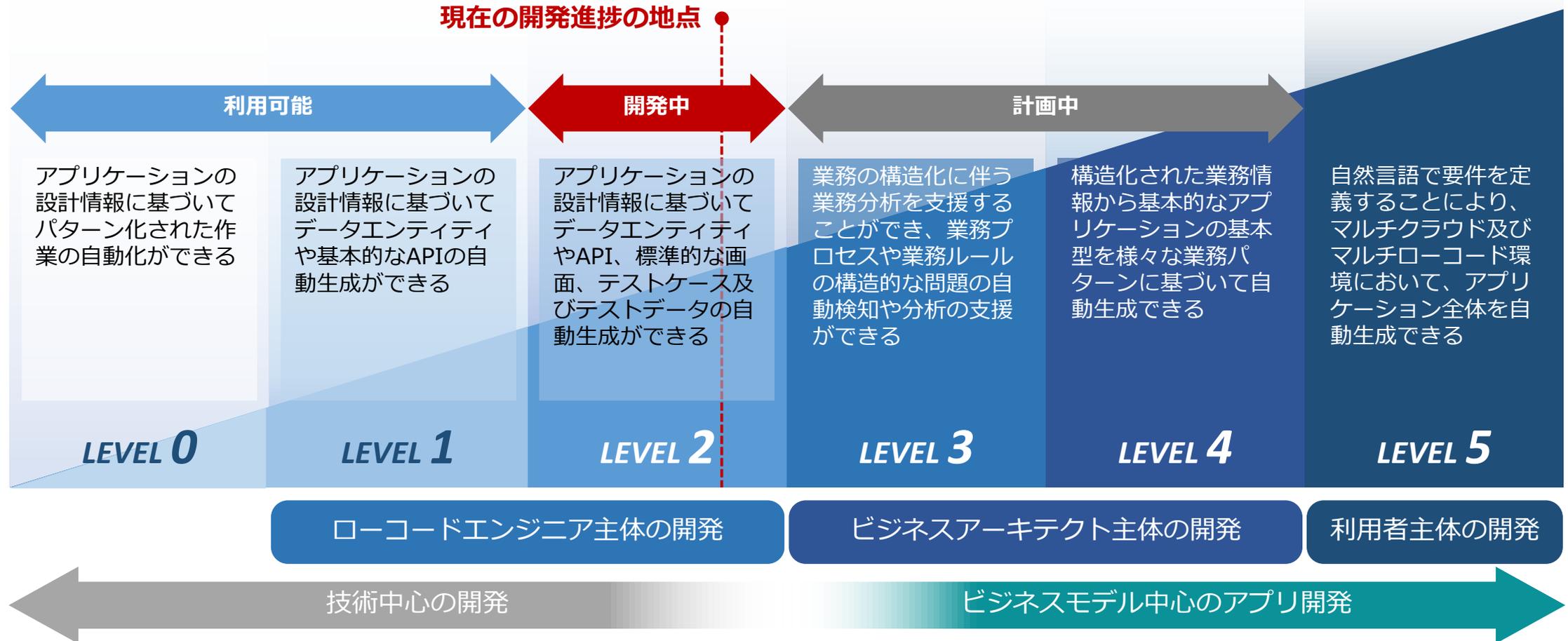
- (1) 取得した株式の総数 14,000株
- (2) 株式の取得価格の総額 14,269,300円

3

Appendix

bluememe

デジタルレイバーの開発ステージ



デジタルレイバーによって売上拡大に必要な人材を削減可能

- 開発サービスの売上を向上させるため「技術者の数」と「技術者一人当たりの生産性」を増加する
- デジタルレイバーによって「技術者一人当たりの生産性」を倍増させることで売上拡大を狙う

